

白馬インターナショナルスクールの開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 白馬インターナショナルスクール
校長 クリス・バーム
- 2 位置 白馬村大字北城11290-1
- 3 設置者 白馬インターナショナルスクール
理事長 草本 朋子
- 4 学則定員 90人
- 5 開校年月日 令和6年4月1日

1 生徒数の状況

○生徒数に関するデータ (12月1日時点)

(単位：人)

	7年	8年	9年	10年	合計	申請時計画	定員
R4							
R5							
R6							
うち新入生							
(応募者数)							
県外出身者							

- ・海外のインターナショナルスクールフェアに積極的に参加し、本校の理念や運営に共感してくれる生徒・保護者に情報が届くよう、マーケティングに力を入れている。
- ・照会や志望者数は増えているが、選考基準を厳しくしていることと、一気に人数を増やしスクールの文化が大きく影響を受けることがないよう気をつけていることから、生徒数は比較的緩やかな増加となる予定である。

2 教職員の状況

(単位：人)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	助手	事務職員	合計
計 画	計	1	1	14	0	1	0	0	2	19
	専任		1	10					1	12
	兼任	1		4		1			1	7
R 6	計	1	1	13	0	2	1	0	2	20
	専任		1	12					1	14
	兼任	1		1		2	1		1	6
差	計	0	0	▲1	0		1	0	0	0
	専任	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	兼任	0	0	▲3	0	1	1	0	0	▲1

- ・教職員確保は順調に進んでいる。
- ・白馬という土地の魅力もあり、本校の特徴的な教育理念に共感して志望する者が多いため、良い

人材を選考し採用することができている。

- 課題の一つは、本校では日本円で報酬を支払うため、このまま長期的に円安が続くと、世界中で活躍できる教職員にとって本校で勤務することが経済的な意味で魅力的でなくなってしまうこと。

3 教育の特徴

- プロジェクト型学習：実社会につながる課題の探究を通じて知識やスキルを身につける教科横断型の学習方法
 - Social Emotional Learning（社会性と情動の学び）：人との関わり方や感情のマネジメントなどの非認知能力を身につけるための学び
 - アウトドア教育：大自然の中に出て自然との絆を育む中で自然の尊さを学び、生態系の理解を通じてシステム思考を学ぶ教育
 - サステナビリティ：持続可能な未来を創るため自分が果たす役割を考え実行に移す学び
- 今後は、よりサステナブルな運営を心掛け、コンポスト運営、校舎や寮の断熱改修等環境に配慮した取組を生徒と教職員が推進していく予定です。

4 収支決算